

# 医工連携シンポジウム

参加費無料  
事前申込要

2019.6.8(sat) 9:00—16:40  
慶應義塾大学 矢上キャンパス 創想館 地下2階 マルチメディアルーム

慶應義塾大学理工学部では、医学系・薬学系研究者との研究連携を進めています。その領域は医学的な研究に止まらず、ロボット、認知科学、さらにはビッグデータ利用といったところまで広がりを見せています。本シンポジウムでは、代表的な医工連携プロジェクトについて、理工学部のみならず、関連する医学系・薬学系研究者による講演によりそれらの成果を公開いたします。

## プログラム

- 09:00～09:05 **開 会** 岡田英史 理工学部長
- 09:05～09:10 **挨拶** 伊藤公平(物理情報工学科・教授)
- 09:10～09:40 **特別講演** 岡野栄之(医学部生理学教室・教授)  
『幹細胞技術を用いた中枢神経系の再生医療と病態・創薬研究』
- 09:40～11:45 **講演**
- 09:40～09:55 ■三木則尚(機械工学科・教授)『インプラント人工透析システム』
- 09:55～10:15 ■野崎貴裕(システムデザイン工学科・専任講師)／小林英司(医学部プリナストン臓器再生医学寄附講座・特任教授)  
『医工の相互理解が叶える明日への思い ～現場を変える真の医工連携とは～』
- 10:15～10:35 ■竹村研治郎(機械工学科・教授)／藤田淳(医学部重症心不全治療学寄附講座・特任准教授)  
『心筋再生医療を実現するiPS細胞由来心筋細胞の大量培養』
- 10:35～10:50 **休憩**
- 10:50～11:10 ■満倉靖恵(システムデザイン工学科・教授)／石川智愛(医学部薬理学教室・助教)  
『アルツハイマーモデルマウスを用いたアミロイドβクリアランスに関する基礎研究』
- 11:10～11:30 ■藤本ゆかり(化学科・教授)／塗谷睦生(医学部薬理学教室・准教授)  
『生体分子を視る ～分子可視化のための化学合成とバイオイメージング技術～』
- 11:30～11:45 ■栄長泰明(化学科・教授)『ダイヤモンド電極を用いた薬物・生体物質の生体内リアルタイム測定』
- 13:00～13:30 **特別講演** 安井正人(医学部薬理学教室・教授)  
『水分子の生物学・医学:医工連携による生命現象のより深い理解を目指して!』
- 13:30～16:35 **講演**
- 13:30～13:50 ■尾上弘晃(機械工学科・准教授)／木村洋朗(那須赤十字病院整形外科・医師)  
『末梢神経再生のための細胞ハイブリッド型神経グラフト』
- 13:50～14:10 ■古川良明(化学科・准教授)／三澤日出巳(薬学部薬科学科・教授)  
『タンパク質の「ミスフォールディング」がもたらす神経変性疾患』
- 14:10～14:25 **休憩**
- 14:25～14:40 ■佐藤健吾(生命情報学科・専任講師)『慶應ライフサイエンスシンポジウムのご紹介』
- 14:40～14:55 ■南美穂子(数理科学科・教授)『医学・疫学データの統計解析における医工連携』
- 14:55～15:10 ■長谷部光泉(東海大学医学部医学科 専門診療学系 画像診断学領域・教授)  
『身体に優しい手術法:IVR(画像下治療)の最新器具の開発』
- 15:10～15:25 **休憩**
- 15:25～15:40 ■山本詠士(システムデザイン工学科・助教)『細胞膜近傍における水・低分子輸送現象の解明』
- 15:40～15:55 ■須藤 亮(システムデザイン工学科・准教授)『臓器再生や癌転移メカニズムを調べる組織工学』
- 15:55～16:15 ■塚田孝祐(物理情報工学科・准教授)／鈴木直(聖マリアンナ医科大学産婦人科学教室・教授)  
『小児・思春期・若年(AYA)世代がん患者に対する光干渉断層法を用いたより効率の良い卵巣組織凍結・移植法の開発』
- 16:15～16:35 ■榊原康文(生命情報学科・教授)／橋本正弘(医学部放射線科学教室(診断)・特任助教)  
『検査画像診断へのAIの挑戦:放射線科と生命情報のコラボレーション』
- 16:35～16:40 **閉 会** 栄長泰明(実行委員長)

※当日、やむを得ない事情によりプログラムの内容等を変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

問合せ

慶應義塾大学理工学部学術研究支援課 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1  
TEL:045-566-1794 FAX:045-566-1436 E-mail:yg-josei@adst.keio.ac.jp

申し込み▶  
こちらから

